

第14回 多糖の未来フォーラム

第429回 生存圏シンポジウム



主催：糖鎖化学研究会、日本応用糖質科学会、セルロース学会、
日本キチン・キトサン学会、シクロデキストリン学会
学術集会開催助成金：水谷糖質科学振興財団、京都大学生存圏研究所

日時：2020年11月7日(土) 13:00～18:00

場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-12 御茶の水センタービル

参加費：無料

現地開催とWeb開催を併用したハイブリッド開催を予定。
事前参加申し込みをして頂いた方にURLをお知らせいたします。

講演プログラム

13:00～13:10 開会の辞

13:10～(各講演40分)

繁栄した海洋生物はどのようなキチナーゼを持つのか？
～キチンを酵素分解するためのヒントを探る～

松宮 政弘 (日本大学生物資源科学部)

糖はどこから来たのか、糖とは何者か、糖はどこへ行くのか

平林 淳 (産業技術総合研究所)

多糖の分岐を考える ～澱粉構造と枝作り酵素の研究から～

鈴木 龍一郎 (秋田県立大学生物資源科学部)

15:10～15:30 休憩

15:30～(各講演40分)

セルロース合成酵素：常温常圧水系溶媒下における高分子構造制御

今井 友也 (京都大学生存圏研究所)

高度な分子識別機能を有するシクロデキストリン複合体の開発

早下 隆士 (上智大学理工学部)

キトサンモノマーであるグルコサミンの長寿遺伝子サーチュインを介した生理作用

五十嵐 庸 (城西大学薬学部)

17:30～17:40 閉会の辞

事前参加申し込み方法：多糖の未来フォーラム事務局
tatou-mirai2020@juntendo.ac.jpへ「①氏名、②所属、③メールアドレス」をご連絡ください。(締切11月4日(水))